

動物実験に関する自己点検・評価報告書

福島県立医科大学

平成 27 年 12 月

## I. 規程及び体制等の整備状況

### 1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 福島県立医科大学動物実験規程 福島県立医科大学動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
4) 改善の方針、達成予定時期

### 2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 福島県立医科大学動物実験規程 福島県立医科大学動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
4) 改善の方針、達成予定時期

### 3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 福島県立医科大学動物実験規程、福島県立医科大学動物実験委員会規程 福島県立医科大学動物実験計画書審査事務処理内規
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 福島県立医科大学組換え DNA 実験安全管理規程 実験動物研究施設感染動物実験室運用手順 感染動物実験室利用心得 実験動物研究施設 BH(バイオハザード)実験室運用手順 実験動物研究施設利用の案内 福島県立医科大学研究用微生物安全管理規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

福島県立医科大学動物実験規程、福島県立医科大学動物実験委員会規程

福島県立医科大学実験動物研究施設管理運営規程、福島県立医科大学実験動物研究施設使用細則

飼養保管施設(設置・変更)承認申請書

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

4) 改善の方針、達成予定時期

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 福島県立医科大学動物実験規程、福島県立医科大学動物実験委員会規程 動物実験委員会開催記録、動物実験計画書、持ち回りによる動物実験計画書審査記録、メーリングリストによる動物実験計画書審査事務綴、動物実験計画書承認通知 (一覧)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期

### 2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 福島県立医科大学動物実験規程、福島県立医科大学動物実験委員会規程 動物実験委員会開催記録、動物実験計画書、メーリングリストによる動物実験計画書審査事務綴、動物実験計画書承認通知 (一覧)、動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) H23 年度動物実験結果報告は 59 件 (100%)、H24 年度分は 143 件 (100%)、H25 年度分は 157 件 (100%)、 H26 年度分は 166 件 (100%) である。(平成 27 年 12 月 22 日現在) ・動物実験結果報告書未提出の原因の一つである異動・退職者の対策として、平成 25 年度からは毎年 3 月までに求めることとした。さらには実験責任者及び実験実施者に対し適宜啓蒙周知を図った結果、全ての計画書について報告書が提出されている。
4) 改善の方針、達成予定時期

### 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 組換え DNA 実験計画承認通知書写、動物実験計画書 感染動物実験室利用心得、感染動物実験室運用手順、感染動物実験室利用申込書 BH (バイオハザード) 実験室運用手順、バイオハザード実験室利用申込書 各実験室内安全キャビネット・飼育装置の設置状況および現場確認 感染実験室オートクレーブ運転記録、修理報告書、点検整備・検査報告書 福島県立医科大学研究用微生物安全管理規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期

### 4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 福島県立医科大学動物実験規程、福島県立医科大学動物実験委員会規程 飼育作業標準、作業日報、実験動物研究施設利用の案内 動物検収確認表、 微生物モニタリング検査実施状況 外部獣医師による助言指導記録
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・外部獣医師による評価 臨床獣医師としての観点から動物実験計画書の動物に与える苦痛度および内容の確認を行い、さらに当該施設の現場視察を行った結果、適正に維持管理されていると判断される。

4) 改善の方針、達成予定時期

#### 5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

##### 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 2) 自己点検の対象とした資料

福島県立医科大学動物実験規程、福島県立医科大学動物実験委員会規程  
飼育作業標準、作業日報、修理費執行状況  
微生物モニタリング検査実施状況

##### 3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

4) 改善の方針、達成予定時期

#### 6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

##### 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 2) 自己点検の対象とした資料

福島県立医科大学動物実験規程、福島県立医科大学動物実験委員会規程  
動物実験実施者向け教育訓練講演会 (外部講師)、教育訓練受講報告 (管理者)  
実験動物研究施設利用者ガイダンス (実験動物セミナー含む) 実施・受講者記録  
飼育管理業務委託先研修資料

##### 3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

4) 改善の方針、達成予定時期

## 7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 福島県立医科大学動物実験規程、福島県立医科大学動物実験委員会規程 福島県立医科大学実験動物研究施設年報の発行(年1回発行、2013年度第14号)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

専任職員(医療技師・動物管理員)の学外研究機関等での研修(予算措置; H10~) 山形大学、東北大学、自治医大、熊本大学、(財)実験動物中央研究所、公私動協技術研修会等 学外獣医師による獣医学的管理および助言指導(予算措置; H17年度~) (隔月1回3時間程度施設内飼育状況視察、動物実験計画書の確認) 動物実験実施者向け教育訓練(学外専門家による講演の実施のための予算措置; H19年度~) 東北大学大学院教授、(独)産総研審議役、筑波大学教授、自治医大教授、実験動物中央研究所 副所長・研究部門長、神戸大学大学院准教授、京都府立医科大学教授 実験動物セミナーの開催(年数回) <u>学内の動物実験実施者への外部獣医師による小動物の麻酔についての講義や、実験動物研究施設 教職員が講師となり関係法規の説明、マウス・ラットの麻酔や採血法の実技指導</u> リサーチカンファレンスの開催(毎月) 実験動物研究施設教員が、学内研究者への動物実験の助言指導 LARCレターを発行(隔月)し学内に配布 実験動物研究施設の実験装置等の紹介や学内の動物実験者の紹介、動物実験のアドバイスを掲載
---